

いんじちは厚高です

学習活動の特色

本校は四月に新しく三九人の新生を迎え、全校生徒は一〇九人となりました。一学年一学級という小規模校であることの利点を最大限生かして一人一人が分かる授業を目指しています。さらに「地域キャンパス校」として「センター校」である苫小牧東高校からの授業支援も三年目を迎えました。ここでは本校の特徴的な授業について説明したいと思います。

★少人数授業

三年生の「現代文」の授業でクラスを半分にした二展開の少人数授業を行っています。本校の国語教諭と苫小牧東高校の教諭がクラスを半分を交互に受け持ちます。十数人の生徒と教師が意見を交わしながらいきいきと授業に取り組んでいます。

★チームティーチング

一、二年生の数学の授業では、本校の数学教諭と苫小牧東高校の教諭の二人で指導するチームティーチングを実施しています。

りわけ、数学が苦手な生徒への個別指導の機会をふやし、基礎・基本の定着を重視した授業を展開しています。

★生きた英語に触れる

各学年の英語の授業には週に一度、英語指導助手（ALT）を迎えています。本校の英語教諭の他にALTが二人という三人で行う授業もあり、生徒は身近に生きた英語に触れています。また、放課後の英語同好会の活動でもALTとの会話やゲームを通じて楽しみながら国際感覚を養っています。

★家庭生活の基礎を身に付ける

三年生の「家庭看護福祉」（選択科目）の授業では隣接するグループホームやわらぎへ見学・実習を行います。さらに点字・手話の専門講師を招いて学習します。二年生の「家庭総合」の授業では保育所訪問も実施しており、家庭生活に必要な育児と介護を高校時代から体験的に学んでいます。

★情報化社会への対応

情報と商業の授業では現代生活に必要なパソコン操作やIT技術

の習得を行います。パソコン教室では生徒ひとり一台のパソコンがあたり、指導は二人体制で実践的な実習授業を行っています。

★個々の実力をつける

生徒の学力向上を図るために、家庭学習課題を毎日課しています。そして全教員で分担して添削指導をし、一週ごとにその確認テストを行っています。理解が不十分な生徒には放課後に個別指導を行い、基礎学力の養成を徹底しています。

今年度の進路活動概況

昨年度は非常に厳しい就職環境でしたが、ハローワークなどから入る情報によれば、今年度も引き続き同様の状況が続くようです。

今年度の3年生は36人で、そのうち約3分の1の生徒が進学、約3分の2の生徒が就職を希望しています。進学を希望している生徒は、積極的にオープンキャンパスや進学相談会に参加し、志望校を具体的に絞ってきているところです。また、AO入試を受験する生

徒のなかには進学先を決める人も出てきました。7月に入り新規高卒者向けの求人票が公開されましたが、出足は低調で、就職希望者には厳しい状況です。夏休み明けまでに求人が増えてくれることを期待しているところです。新規高卒者の採用をお考えになっている事業所がございましたら、町内外を問わず情報をご提供いただけると幸いです。よろしく願っています。

生徒会活動について

今年度は、例年より1週間ほど早い7月9日（金）～10日（土）の2日間、年間最大の学校行事である学校祭が開催されました。

○総合テーマ：「青春」～スマイル 一番いい××××
○装飾テーマ：「映画」
今年度はちょうど第30回の記念すべき学校祭だったので、右記の2つのテーマのもと、生徒たちだけでなく、日頃からお世話になってる地域の方々にも楽しんでいただける学校祭を目指して、準備が行われました。

特に、3年生にとっては最後の学校祭でもありますし、今年は口蹄疫の関係で田舎まつりも中止でしたので、その意気込みはひとしおでした。
1日目は、生徒会企画のビデオ・ゲームと各学年の演劇が主たる内容でした。演劇では、さすが3年生といった感じで映画「クローズ」からヒントを得た学園ドラマ風の「オープンZERO」を演じ、分かりやすい内容や演技の迫力

から、最優秀賞に輝きました。

2日目は、HR発表やバザー、教員発表や生徒個人発表が主たる内容でした。各クラス工夫を凝らしたお店を出店しましたが、その中でも目を引いたのが2年生でした。暑い夏にはびつたりの涼しげな「ホラー喫茶」は、装飾部門でも最優秀クラスに選ばれました。2日目の土曜日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、足下の悪い中でも多くの方が学校祭に来ていただき、本当にありがとうございました。

皆様方のご支援のおかげで、夕方から雨雲も吹き飛び、後夜祭の最後を飾る花火も、好天の中、盛大に打ち上げられました。

来年もより地域に密着した、良い学校祭を築き上げていきたいと思えますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をよろしく願っています。

部活動のしりとり

★【テニス部の紹介】

厚真高校テニス部では、今年度に入り新入生が9人も入部しました。3月まで現3年生が1人しかいなかったのが部員急増です。ほぼ全員が初心者ということで、楽しくテニスができるようなレベルに持つていくことがまず最初の目標です。一人の経験者をのぞき、初心者者の技術は試合に出るまでに

至っていませんが、目標の達成を目指しています。上手な人のテニスを見てみると簡単そうに見えるですが、実際にラケットで思い通りの球を打つというのは難しいものです。初心者の新入部員達もテニスの難しさに苦戦しているところ

です。



今年度、新入部員が9人増え今後の活躍が楽しみなテニス部

★【自然科学部】

昨年度で頑張った3年生2人が卒業し、部員が2年生1人になるところでしたが、新入生が2人も入部してくれたので、少数精鋭の3人で活動しています。現在は、火山灰の顕微鏡観察の練習や、野

外で火山灰を認定する練習などを行っています。昨年は、ローム層の帯磁率の研究を高文連で高く評価していただくことができました。さらに、その以前に調べたローム層の砂粒組成の成果を論文にまとめることもできたので、2009年度は実り多い年となりました。2010年度は、これまでとは違った切り口でローム層や火山灰にアプローチするための手法の開発に、新入生部員をまじえて知恵を絞っていく予定です。



今後も地層研究の成果が期待される自然科学部の部員たち

★【バドミントン部】

今年度からバドミントン部は、顧問が変わり新体制となりました。部員は男子5人、女子5人の合計10人で活動しています。バドミントン部は、地区大会を勝ち抜き全道大会で活躍することを目的としています。その目的を達成するために毎日の練習の中に高い目

標を持ち、「苫小牧の高校に勝つぞ」という強い気持ちを持って、日夜厳しい練習に取り組んでいます。

4月に行われた国体予選では、河村・西谷がベスト8に入り、全道への切符が見えてきました。高体連では、良い結果は残せませんでした。次に繋がる試合をしてきました。この悔しさをバネに、一歩ずつ前進し全道大会への切符を掴んでいきたいと思えます。



部員全員が全道大会を目標に練習に励むバドミントン部

★【野球部】

野球部は、7月に3年生が引退し、現在選手9人・マネージャー2人の11人で活動しています。今年度これまでの戦績は次のとおりです。
《春季大会》
・1回戦
対伊達高校 5対4 勝利



春季大会1回戦で勝利しみんなで喜びを分かち合う野球部



今年の学校祭でのひとコマ